SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

静岡県地学会10年のあゆみ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-09-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 半田, 孝司 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025751

静岡地学 第27号（1974）

静岡県地学会10年のあゆみ

半田孝司*

静岡県地学会は発足以来すでに10年をあゆみ続けることができた。筆者は当初から事務局の一部をお手伝いしてきたが、これまでの本会のあゆみは会員諸氏の協力はもちろんのこと、県教育委員会をはじめ、関係方面の応援の力が大であることを痛感している。改めてこれらの方々に感謝の意を表する次第である。ここで本会の今までの足跡（次頁からの表）をふり返ることが今後の発展への基礎になれば幸いである。内容は誌面の都合で主なものに止め、記述は簡略化してあり、敬称はすべて略させていただいた。以下に本会の現状と過去について、そのいくつかを拾ってみる。

会員について：100名台でスタートした会員は現在300名台に定着した感じがするが、県下の学校数が1,000校近くあり、現会員中県外の方が20数名であることを考え合せると、まだ増加する可能性をもち、今後のＰＲに掛っていると考えられる。団体会員は減少する傾向にある。

会費について：本会をささえる重要な財源である会費は過去2回の改正を行った（43年・47年）。現在8割台の納入率を保っているが、最近の諸物価上昇は本会にとってもきびしく、いわゆる泣き所となっており、会員諸氏の御理解をまつ他はない。

行事について：例会は昭和42年より本部から支部の行事となった。巡検会は発会当初募集定員を大きく上まわり、60名定員バスを2台として120名としたがなお希望者があふれたことがある（第3回）。最近は巡検参加者が割合少なく、計画実行に自由のきく自家用車のもちより方式を採用している。昭和42年より見学会を本部行事とし、第1回は気象庁（42.8.28）、第2回は東京天文台（43.8.2）、第3回は日本軽金属㈱の工場、研究所（44.8.6）などで、毎回20～25名参加した。昭和39年の岩石標本領布会も特筆するに値しよう。これは県内産の岩石標本20種を会員が足で集め、県内の希望校に領布したもので、解説書もつけた。このときの計画、とりまとめ等は伊藤通玄氏が中心になり、この他にも発足当初の本会運営、事務的な仕事など氏に負うところが大きい。

資料について：資料は主に巡検会の案内書として作られたもので、これまで20冊を数えている。これらのうち初版だけのもの（№2.6.8.10.13.15.16.20.21.）もあるが、№1.のように7版を重ねたものもある。この中には改訂版もあり、特別事業として発刊（№10）したものもある。

会誌について：現在27号となった会誌は約50の各県の朋友会、その他に寄贈しており、今までに掲載された研究報告だけでも100篇を裕に越えている。会誌の印刷はオフセット印刷である。

会誌の表紙について：うす緑の表紙色は本県特産の茶に因んでいるが、この表紙に「静岡地学」と書かれている。これは本会初代会長であった故佐々倉航三先生の筆になるものである。先生が他界されたのは昭和41年1月7日で、丁度第5回野外巡検（鳳来寺山方面）のときで、巡検2日目の早朝悲報をきいた。あのときからもう9年になるが、独特の風格をもった先生（佐々倉会長については会誌第5号に詳しい）のことがらは、筆者にとってもこの文字をみるたびになつかしく思い出される。先生は毛筆をこよなく愛され、創立当時の会誌発送にあたっては、筆者のもたもたした仕事を見兼ねて、会長自ずから毛筆で宛名書きをされたこともしばしばあった。

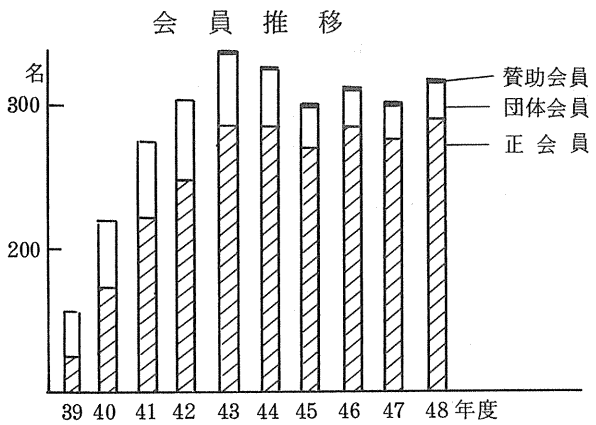
＊ 事務局・静大教育学部

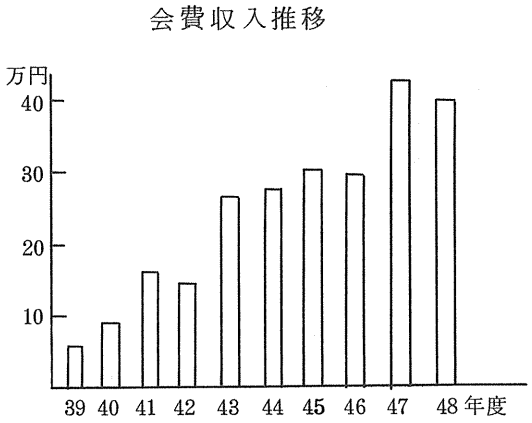
	総　　会	年　　会	会　　誌
39年度	結成大会（於静岡大　地学教室）6月28日 ◎国際インド洋調査に参加して　土隆一（静岡大） 第1回年会、総会（静岡市　婦人会館）11月14日 ◎富士山の気象　藤村郁雄（富士山測候所） ○田子浦砂丘に関する研究　小川賢之輔 ○科学的思考の広まりと深まりを求めて　百瀬光二	◎：記念講演 ○：一般講演	会誌創刊号11月発行（18頁） 第2号2月発行（24頁）
40年度	第2回総会（静岡市　中央公民館） ◎ダム地点の選定と地質調査 桐谷文雄（静岡大）5月29日	第2回年会（静岡市中央公民館）11月6日 ◎最近の宇宙像　中山潔（静岡大） ○小学校における天文教育　加藤智雄 ○県西部の岩石　老川寿太郎 ○富士山西南麓の地質、地下水　野島宏二 ○太田川における河川礫　飯田弘治	第3号7月発行（40頁） 第4号10月　〃　（31頁） 第5号2月　〃　（43頁）
41年度	第3回総会（静岡市中央公民館）5月28日 ◎富士火山帯の活動　鮫島輝彦（静大） 映画：鉱床 ：ジエミニ8号ドッキング	第3回年会（静岡市産業会館　高校理科教育研究会共催）11月12日　150名 ◎太平洋の海底　星野通平（東海大） ○児童の宇宙観と天体指導　新村光 ○岩石園の造園と利用　鈴木健司 ○塩基性火成岩地帯における植物変化 老川寿太郎 ○駿河湾と遠州灘の海浜堆積物　橋本隆夫 ○静浦山地の地質　高橋豊 ○起潮力説明の補助教具　高橋文雄	第6号7月発行（20頁） 第7号11月　〃　（30頁） 第8号3月　〃　（28頁）
42年度	第4回総会（静岡市中央公民館） 5月27日　160名参加 ◎地球と放射能　波多江一八郎（静大） 映画：美しい国土	第4回年会（浜松市児童会館）10月28日 ◎宇宙開発の現状と将来　鮫島輝彦（静大） ○雲形についての教材研究　桜井昌 ○岩石教材園の利用　羽田久 ○ＥＳＣＰを実践するために　山下徹也 ○富士宮の気象　山崎誠 ○地形教材の取扱　北川光雄 ○地質断面図を用いた地史の指導　福田和夫	第9号　6月発行（26頁） 第10号10月　〃　（30頁） 第11号　2月　〃　（30頁）
43年度	第5回総会（静岡市中央公民館） 6月1日　70名 ◎静岡県の鉱床　竹内正辰（静大） 本県産主要鉱物展示	第5回年会（三島市婦人青少年会館） 11月16日　55名 ◎地震現象と地質構造線　田中元之進 ○大室周辺の小火山群　斉藤俊仁 ○富士宮の気象　山崎誠 ○三方原台地の地質構造と堆積相　古橋義彦 ○天体写真のとり方　新川稔 ○静岡地方における地震活動の特異性について 飯田孝 ○駿河湾、遠州灘の海浜砂礫　橋本隆夫	第12号　6月発行（46頁） 第13号11月　〃　（30頁）

巡　検　会	例　会	資　料
第1回　日本平　11月15日 案内　土隆一（静大）40名参加 第2回　鳳来寺山周辺　1月6、7日 案内　加藤芳朗（静大）60名参加		№1.　日本平、有渡山とそのおいたち11月発行　土隆一著 №2.　県西端部～鳳来寺山一帯の地質　加藤芳朗著1月発行
第3回　牧ノ原、御前崎周辺　5月30日 案内　土隆一、橋本隆夫　120 第4回　富士火山周辺　11月7日　40 案内　鮫島輝彦、小川賢之輔 第5回　県西部～鳳来寺山周辺1月6、7日 案内　加藤芳朗、伊藤通玄　50	第1回例会（静岡大）8月14日 ○静岡県の河川礫　伊藤通玄 ○人工結晶　鮫島輝彦 第2回例会（浜松八幡中学校）1月22日 研究授業　地学教材の取扱、霧と雲、堆積岩 ○岩石園について　伊藤通玄	№3.　牧ノ原台地の地形地質とそのおいたち　土隆一著5月 №4.　静岡県の主要河川礫　伊藤通玄著　9月 №5.　岩石簿片作製の技術　小川賢之輔著　12月
第6回　由比、蒲原地域　5月29日 案内　小川賢之輔、野島宏二　40 第7回　可睡丘陵、二俣地域及峯の沢鉱山　11月13、14日　加藤芳朗　40 第8回　北伊豆地域　12月26、27日 鮫島輝彦　65	第3回例会　田方教育研究会共催（三島北高） ○学校気象観測の諸問題　赤井誠（三島測候所） 岩石簿片と顕微鏡講習会　鮫島輝彦　8月25日 第4回例会（浜松蜆塚中学校）8月25日 ○地学教育のねらうところ　竹内正辰 岩石簿片と顕微鏡講習会　伊藤通玄 天体観測講習会　大森僖志雄	№6.　岩石教材園作製の手びき　伊藤通玄、老川寿太郎著5月 №8.　天竜川流域の地学案内　加藤芳朗著　11月 №9.　伊豆半島の地学案内　鮫島輝彦著　9月
第5回例会　三島、沼津、田方、駿東教研共催10月29日（三島北高） 天体望遠鏡の取扱及天体撮影法　柴田宸一　70 第7回例会（浜松城北小学校）2月4日　○宇宙と地球　鮫島　50 第8回例会（静大）2月8日 星野写真のとり方　加藤智雄　60	第6回例会　東京地学協会共催（静岡市産業会館） 12月3日　170 ◎地学に関する最近の話題　和達清夫 ◎静清地域の開発と災害　中野尊正 ◎静清地域の地下構造とそのおいたち　土隆一	
第9回　大崩海岸　5月28日　60　案内　鮫島 第10回　山梨県竹森付近　8月26日 案内　鮫島　30 第11回　浜名湖周辺　10月29日　案内　伊藤通 第12回　南伊豆地域　12月26、27日 案内　岩橋徹、黒田直	第9回例会（三島北中学校）8月10日 午前　小室、江ノ浦、千本浜バス巡検　伊藤、高橋 午後　岩石簿片、顕微鏡講習　小川、鮫島100 今回より例会は東、中、西各支部行事となった。 アンデス学術調査報告　土、和田、高橋、杉本の各隊員 中部　静岡市　12月9日 西部　浜松市　1月27日 東部　沼津市　2月17日	№10　静岡県の気候　佐々倉航三、伊藤通玄共著 №11　大崩海岸の地学案内　鮫島輝彦著　5月 №12　浜名湖周辺の地学案内　伊藤通玄著　10月
第13回　井川、畑薙地域6月2日　案内　鮫島 第14回　長野県和田峠8月26、27日　〃 第15回　箱根火山　11月17日　〃 第16回　佐久間地域1月6日　案内　加藤芳朗	東部例会（沼津文化会館）8月19日 ESCP講習会　高橋文雄、沢田直彦　13 西部例会（浜松蜆塚中）10月26日　40 簿片、スンプ作製講習会　伊藤通玄 中部例会（静岡橘高）11月30日　31 天体観測会　新川稔	№13　静岡県の鉱床と鉱物　竹内正辰著　5月 №14　安倍川流域の地学案内　鮫島輝彦著　5月 №15　県北西端の中央構造帯周辺の地質　加藤芳朗著　12月 №5　改題改訂版　岩石・鉱物・化石検鏡試料作製の手引　小川賢之輔著　8月

	総　　会	年　　会	会　　誌
44年度	第6回総会（静岡大教育学部） 5月24日 50 ◎ニュージーランド地質見学 鮫島輝彦（静大） ニュージーランド産鉱物展示	第6回年会（静岡市中央公民館） 10月25日 65 ◎ヨーロッパの地学旅行　土隆一（静大） ○天文教材のとり扱い方　鈴木厳 ○有孔虫による層位学的研究　茨木雅子 ○子供と教師の共同研究　加藤智雄 ○静岡県の地すべり　北川光雄 ○粘土について　野島宏二 ○礫と団塊のずれ　老川寿太郎	第14、15号7月発行（27頁） 第16号10月発行（51頁）
45年度	第7回総会（静岡大教育学部） 5月24日 90 ◎静岡県の山地災害について 岩橋徹（静大） ◎月の岩石および鉱物 久城育夫（東大理学部）	第7回年会（浜松市民会館）10月25日 ◎造山帯のしゅう曲構造　徳山明（静大） ○土の話　野島宏二 ○礫岩のずれ　老川寿太郎 ○星の地方名について　春田博男 ○干渉色のスペクトル　高橋文雄 ○狩野川下流にみられる海水準の変化　高橋豊 ○富士市鷹岡地区における気温分布　山崎誠	第17号 4月発行（19頁） 第18号10月 〃（34頁）
46年度	第8回総会（静岡大教養部） 5月30日 75 ◎西南太平洋の自然　黒田直（静大） ◎光波測量による現在活動中の地殻運動の観測　岡田淳（東大地震研究所）	第8回年会（沼津市文化会館）11月13日 45 ◎地震の予知について　関谷　薄 （気象庁） ○柿田川の自然　山崎泰彦 ○天文教育について　鈴木厳 ○浜北市における黒ボクについて　松井孝友 ○小学校における地学教育　小川澄雄 ○地学教育とクラブ研究　寺尾理 ○御前崎付近の地形　栗林沢一	第19号5月発行（25頁） （地学散歩掲載この号から） 第20号11月 〃（47頁） 第21号 3月 〃（39頁）
47年度	第9回総会（静岡大教養部）5月28日 ◎沖縄の地質と自然　長島昭 ◎沖縄の地形　北川光雄 ◎沖縄の海岸と堆積物　橋本隆夫 ◎アンデスの変成岩　藤吉瞭 ◎アンデス山脈について　土隆一 ◎環太平洋の造山帯　徳山明	第9回年会（浜松市民会館）11月5日 70 ◎浜名湖について　池谷仙之、半田孝司(静大) ○こうれん片岩について　老川寿太郎 ○谷下産ワニ生存当時の古地理 浜松北高地学クラブ　野島宏二 ○静岡県の海岸　北川光雄 ○学校行事の地学実習 鈴木臻 清水南高地学クラブ ○縄文式土器の鉱物組成　増島淳 ○石廊崎付近の地質考察　村山武仁	第22号 5月発行（43頁） 第23号11月 〃（66頁）
48年度	第10回総会（静岡大教養部） 6月3日 70 ◎ニュージーランドの氷河地形 松本繁樹（静大） ◎ソ連邦における地学の研究と教育 土隆一（静大）	第10回年会（静岡静米会館）11月18日 50 ◎南部フォッサマグナ地域の自然災害の特徴 徳山明（静大） ◎自然災害の予知について　木宮一邦（静大） ○鉱物組成よりみた縄文中期土器の特徴 増島淳 ○掛川層群堀之内層の構造について　橋本隆夫 ○白倉川の結晶片岩について　老川寿太郎 ○箱根山西麓のローム層について　高橋　豊 ○私の地学散歩　長島　昭	第24号 6月発行（48頁） 第25号11月 〃（37頁） 第26号 3月 〃（26頁）

巡　検　会	講　習　会	支　部　例　会	資　料
第17回 山梨、手打沢　5月25日 案内　黒田直 第18回 福島、石川町ペグマタイト 8月22、23日 案内　鮫島輝彦 第19回 丹沢地域 10月26日 案内　鮫島輝彦		東部例会（沼津）8月9日 県東部の地質、温泉、地熱　鮫島輝彦 サギノ田巡検　11月9日 案内　小川賢之輔 西部例会（天竜）8月25日 西鹿島の地形、川原の礫　伊藤通玄 可睡丘陵巡検　加藤芳朗	№16 伊豆半島の明バン石、 珪石鉱床　1月発行 竹内正辰著
日本地質学会77年大会巡検会参加 第20回 久根鉱山及周辺　10月24日 （自家用車方式）　案内　鮫島輝彦 第21回 大井川流域　12月27日 （自家用車方式）　案内　徳山明　25	第1回講習会 8月25日　20 堆積物の粒度、 形態の分析と解 析 指導　徳山明 （会場　静岡大）	東部例会　富士川町巡検　11月15日 小川賢之輔 伊豆七島の地質　2月20日　鮫島輝彦 中部例会　由比町巡検　11月7日 案内　岩橋　徹 静岡地方気象台見学　2月13日　30 西部例会（浜松蜆塚中）11月21日 ヨーロッパ旅行　土隆一　20	№17 相良、掛川地方の地質 10月発行　土隆一著 №18 富士山の地学案内 10月発行　鮫島輝彦著 №20 砂岩、礫岩の形態粒度 の解析　8月 徳山明著
第22回 箱根火山　11月14日　55 案内　鮫島、伊藤通玄 第23回 天竜～鳳来寺山周辺 1月6、7日　25 案内　加藤芳朗、伊藤通玄 （自家用車方式）	第2回講習会 8月25日 微化石の採集と 検出法　20 指導　池谷仙之 （会場　静岡大）	東部例会　11月3日　自然歩道調査 12月5日　〃 2月6日　〃 3月12日　〃 中部例会　11月23日　〃 2月11日　〃 西部例会　10月31日　〃 2月19日　浜松測候所見学	№19 箱根火山の地学案内 6月発行　鮫島輝彦著 №21 化石現生小型有孔虫類 の採集と検出法 8月発行　池谷仙之著
第24回 浜岡町周辺及原子力発電所 工事現場見学　1月21日　34 案内　土隆一	第3回講習会 偏光顕微鏡の初 歩　10 指導　黒田直 （会場　静岡大） 8月28日	東部例会　10月22日　富士周辺巡検 6月11日　自然歩道調査 8月25日　下田周辺巡検 1月11日　南部フォッサマグ ナ巡検会 中部例会　2月11日　自然歩道調査	
第25回 新豊根、佐久間、水窪各ダム 見学　8月16、17日　12 案内　桐谷文雄 第26回 岐阜、赤坂、瑞浪、愛知、瀬 戸地域　12月26、27、28日 案内　池谷仙之　13 （自家用車方式）	8月25日 第4回講習会 ソビエト古生物 展見学と生物の 進化について 指導　池谷仙之 （会場　三保文 化ランド、静岡）	東部例会　5月20日　南部フォッサマグナ 巡検会 8月4日　〃 中部例会　7月14日　古生物展見学	





創刊号発刊のとき、先生に静岡地学という題字の原稿をお願いしたのであるが、先生は小さな紙切れ（実は新聞の折込広告の裏に書いて下さった。）を「うまく書けないよ」と少声で言われながらさし出された。これも先生の一面をのぞかせてなつかしいが、このときの原稿は今も保存してある。

こうして生れた「題字」も創刊号と最近号を見くらべると少し変化しているのに気付く。筆特有の細い線が消えたり、角が丸くなったりしている。印刷のくりかえしによる変化であろうが、全体に落ちついた感じがする。この文字の変化をみていると、そのまま本会10年のあゆみを示しているようにも見えてくるが、気のせいであろうか。とにかく着実に歩を進め、独特の風格ある静岡県地学会に発展するよう念願してやまない。

会誌寄贈先と交換誌

静岡大学中央図書館
静岡県立中央図書館
静岡地方気象台
浜松測候所
富士山測候所
静岡県温泉協会（静岡県温泉協会報）
日本地学教育学会（地学教育）
日本理科教育協会（理　科）
日本地学研究会　（地学研究）
秋田地学教育学会（秋田地学）
平地学同好会（平地学同好会報）
新潟県地学教育研究会（地学教育研究会誌）
長野県地学会（長野県地学会報）
石川県地学教育連絡会（石と川）
愛媛地学会（愛媛の地学）
鹿児島地学会（鹿児島地学会誌）
奈良県地学教育研究会（大和地学）

東京大学理学部地質学教室
〃　地理学教室
東京教育大理、地質鉱物学教室
〃　地理学教室（地理学研究報告）
東京都立大理学部地理学教室
国立科学博物館
大阪自然科学研究会（Nature　Study）
東京地学協会
長崎県地学会　（長崎県地学会誌）
京都地学教育研究会　（京都地学）
京都地学同好会　（京都地学同好会報）
北海道地学教育連絡会（郷土の科学）
神奈川地学会　（神奈川地学）
山口地学会　（山口地学会誌）
横須賀市博物館（博物館研究報告・雑報）
熊本地学会　（熊本地学会誌）
山梨地学会　（山梨地学）

このほか県教育委員会、各市教育委員会など合計49団体